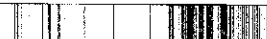


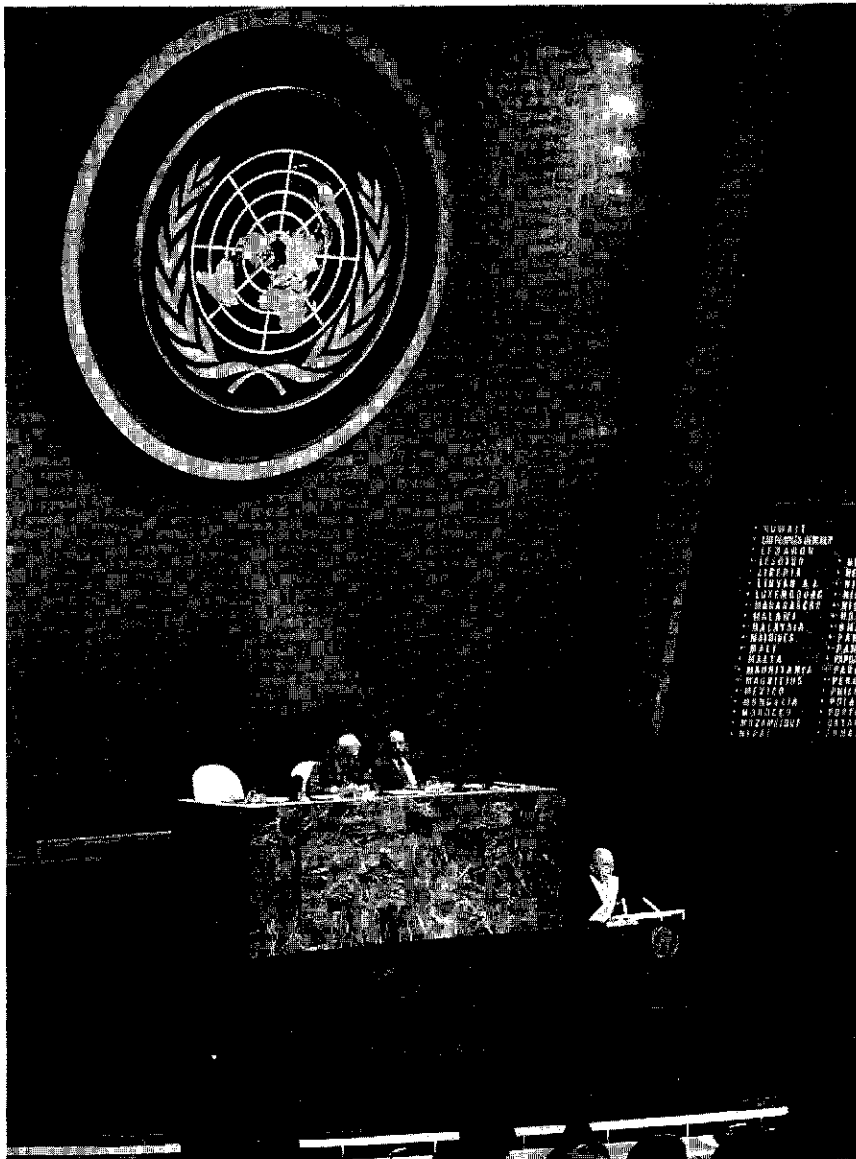
十日町市名誉市民

庭野日敬先生ご逝去



故庭野日敬先生を偲ぶ

世界的な平和指導者であり、郷土の福祉・教育の発展に貢献された十日町市名誉市民庭野日敬（にわの・につきょう）先生が、10月4日午前10時34分、療養先の佼成病院（東京都中野区）で静かに人生の幕を閉じられました。満92歳でした。なお「市葬」については、ご遺族から辞退の申し入れがあり、行わないこととしました。



世界宗教者平和会議の代表として「第1回国連軍縮特別総会」で演説する、ありし日の庭野日敬先生（昭和53年6月）

訃報に接して

十日町市長 本田欣二郎

名誉市民庭野日敬先生の訃報に接し、断腸の思いであり、誠に悲しみに堪えません。本市菅沼でお生まれになった先生は、世界平和のために偉大な指導力を発揮され、本市の福祉・教育の発展にも多大な貢献をされました。

市では、平成元年4月2日、市民の総意に基づき、多大な功績をたたえ「十日町市名誉市民」の称号をお贈りしました。先生のご功績を挙げれば枚挙にいとまがありませんが、とりわけ、冷戦時代の昭和53年、57年、63年の3回にわたり、国連軍縮特別総会において、世界平和の維持確立のため核兵器廃絶と軍縮を訴えるなど、常に世界平和に向け大きな指導力を発揮されました。激動の20世紀に偉大な足跡を刻み、生涯を通じて優しい目で社会と人々を見つめつつ、いつも故郷十日町市に思いを寄せてくださった先生。まだまだお元気で活躍されることを念じておりましただけに、誠に残念でなりません。残された私たちは、先生が生涯愛された郷土をすばらしいまちにするため、これからも精一杯の努力を続けることをお誓いいたします。

今はただ、先生のご冥福を心からお祈りするばかりです。